

## 活動報告

### 『夏の議員インターン生を受け入れました』

5回目となる大学生インターンシップ生を受け入れました。8月から9月までの2ヶ月間、様々な活動をともにしました。議員インターンシップとはいっても、議員になりたい!という学生が来るわけではありません。多くは就職活動を前に社会勉強がしたい、という民間企業への就職を希望する学生たちです。それでも、行政の仕事の幅広さや議員活動から垣間見られる社会の広さに最初は驚きつつも、インターン活動を終えるころには政策提案ができるくらい成長して帰ってくれています。今回のインターンでは東播磨地域の駅前開発や少子化対策についての政策提案に挑戦しました。今後の学生生活や社会に出てから、少しでも2ヶ月間の活動を活かしてもらえたならと思っています。

インターン生ブログも開設しています!

<http://blog.livedoor.jp/shimazu1987/>

### 『登竜門@神戸を開催しました』

若手議員と議員を目指す若者とが交流するイベント、登竜門@神戸を開催しました。登竜門は「議員秘書になる」、「政党に入る」以外の選択肢から議員を目指すことができるようになります。と同世代の議員仲間が名古屋で始めたものです。今回、全国で2カ所目となる開催地として、9月1日に神戸で開催しました。学生や若手社会人の方々に参加いただき、選挙のことから議員活動のことまで幅広く意見交換を行いました。若い方にも政治の世界を目指してほしい、その思いを実現できるよう、今後も取り組んでいきたいと思います。

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください

VOICE!



頑張ります!



共に政治を盛り上げよう

We ❤ 高砂 高砂市議会議員

# しまづ はるか 後援会報

16号 2017年秋号

## ご挨拶

9月が過ぎ、早いもので市議会議員の任期も残すところあと1年となりました。多くのご期待をお寄せいただいてから3年、まだまだご期待に添えていない部分が多くあるかとは存じますが、日々奮闘しております。9月定例会では役員改選もあり、所属委員会も新たな構成となりました。残された任期も力の限り、取り組みたく思います。

高砂市議会議員 島津 明香



## 9月定例会報告

### 『新たな委員会構成となりました』

9月定例会にて委員会の改選があり、所属委員会が変わりました。

#### 常任委員会

建設環境経済常任委員会 副委員長

#### その他の委員会

議会運営委員会

市議会だより編集委員会 委員長

日々の活動を  
発信しています!

<ブログ>



<Facebook:島津明香>



# 一般質問

## 小中一貫教育について

平成28年6月定例会でも一般質問した小中一貫教育について、来年度から市内全校での導入が行われる予定であることに先立ち、再度一般質問をしました。今後導入される小中一貫教育は、小学校と中学校の校舎が離れている施設分離型での一貫教育となります。平成26年より高砂小学校・高砂中学校で施設併設型での一貫教育が行われていますが、施設分離型での一貫教育となると、施設併設型での一貫教育とは異なる部分も多々あります。具体的にどのような一貫教育になる予定なのか、また以前の一般質問でも投げかけた、物理的な距離などによる懸念事項は払拭されているのか、伺いました。

質問(島津)



※  
どのような小中一貫教育を実施するのか?

まなぶ力とあたたかい心を醸成し、めざす子ども像を一貫性にあるものにする。

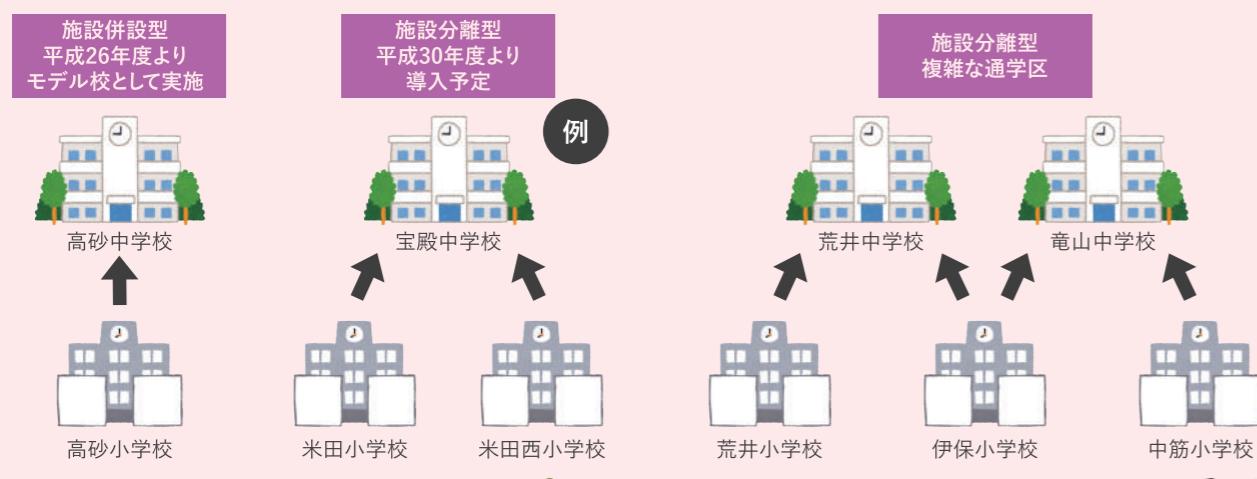
1つの小学校から2つの小学校に進学する伊保小学校はどの中学校と一貫教育となるのか?

伊保小学校については、進学先となる竜山中学校、荒井中学校のどちらも一貫した教育が行えるよう、竜山中学校と荒井中学校のめざす子ども像や取り組み内容に大きな違いが生じないように調整をしている。また、両中学校区の小学校同士や中学校同士の連携にも取り組んでいる。

答弁(教育長)



※小中一貫教育とは?  
学習指導要領に準じた教育課程をもとに、小学校と中学校9年間で一貫性のある指導を実施するもの。



## 新庁舎建設事業

新庁舎建設事業は9月定例会に基本設計が示され、今後実施設計に移ります。基本設計では、本庁舎4階（一部5階）建、分庁舎2階建の分棟型であることや各庁舎の位置、大まかな内部の構造、駐車場の構造などが提示されました。基本構想では議会機能も本庁舎に含まれる一棟型が提示されていましたが、仮設庁舎を建てずに建設することや一時に議会機能を他所に移すことのコストとの兼ね合いから、分棟型が採用されています。

## サンモール高砂

サンモール高砂のうち西友跡地部分については、株式会社アスクプランニングセンターに引き渡され、今後の活用が考えられています。商業施設としての活用が考えられているとのことですが、詳細はまだ明らかになっていません。市議会でも報告はいただいているものの、民間企業の事業であり、介入することは困難です。市は消費者施策としてできることを行っていくとのこと。私も議員として見守りつつ、できることを提言していきます。

## 山陽電車連続立体交差事業

9月定例会での市長による提案理由の説明時に事業の検討を開始することが報告されました。加古川から法華山谷川までの区間の連続立体交差が検討され、実現すると7つの踏切が解消されます。高砂駅東側の高砂踏切が対策を必要とする踏切に指定されていることから、県から相談を受け、実現には数十年の年月がかかるとのこと。まずは2、3年かけて効果や周辺のまちづくり手法、工法などを調査するとのことで、私は調査については前向きに行っていただきたいと考えています。

## 市内の交通について

市内の交通網については、東西は鉄道があり比較的行き来がしやすいものの、南北は公共交通機関では行き来しづらいという課題があります。この課題を解消するための市の事業としてコミュニティバスがありますが、ルートや本数などについてのご意見を多くいただいています。ただ、バスの本数増加には多額の費用が必要となります。昨年のルート再編から5年間が経過する平成33年には、再度コミュニティバスの再編が考えられていることもあり、バスにこだわらず南北の行き来という課題を解消できる手法はないのか、一般質問で伺いました。

コミュニティバスに関する市民の方々からの声に対して、どのように向き合っているのか?

質問(島津)



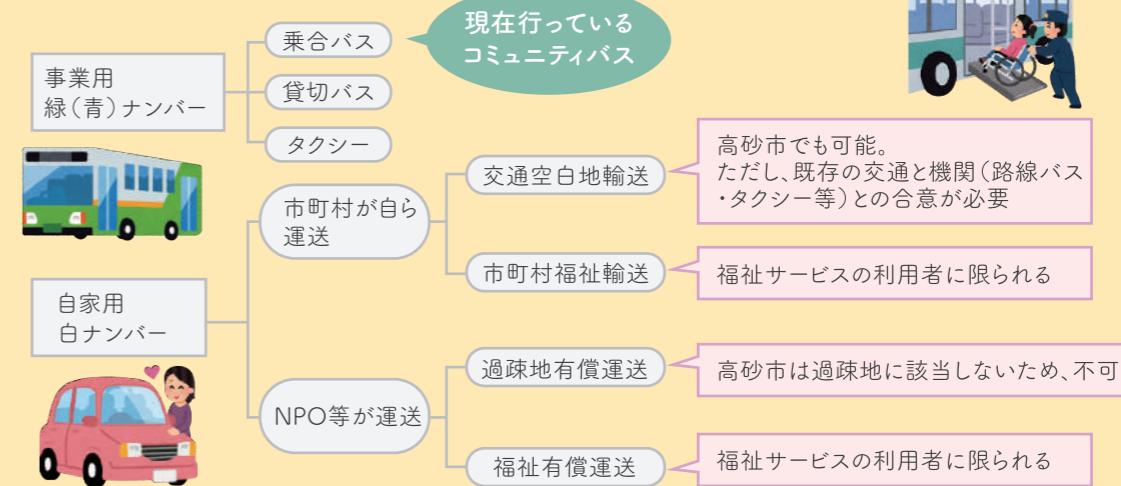
平成28年2月に行ったコミュニティバスのルート再編は、市民の方々からの声を踏まえて行った。主に、「現ルートでは利用しづらい」という声があり、5つの柱（①JR曽根駅から山陽曽根駅、JR宝殿駅を結ぶルートの新設、②利便性の向上、③市内ループのルート分割、④新たな施設である図書館や教育センターを通るルート、⑤バスの1台増便）を基に再編を行った。

答弁(市長)



道路運送法上、高砂市ではどのような交通手段が可能なのか?

<道路運送法の事業区分>



京丹後市のような、民間のシェアリングサービスは利用できないか?

平成33年に予定している再編時には様々な事例も参考にしていきたい。



他市事例:京丹後市の事例 民間のサービスである「Uber」の仕組みを活用し、「ささえ合い交通」が展開されている。

Uberとは?

シェアリングサービスの1つ。スマートフォンで配車し、マイカーを使って輸送する。

病院に!



お買い物に!



観光に!



スマホで!

